

# みんなのでええよう 大切な人

高齢者いきがい課 ☎224-5809

トキノ家の認知症介護奮闘記その11  
アルツハイマー病による認知症のヤスヨさんは、一人で出掛けることが難しくなりました。そこで、ヤスヨさんが出掛ける時には夫のヒロシさんが付き添うようになりました。ところが、ヒロシさんにはちよつと困っていることがあります。実は、ヤスヨさんはトイレに一人で入ることが難しくなってきたのです。家ではヒロシさんが衣類を整えたりすることを気兼ねなく

手伝うことができますが、外出先ではたとえ多目的トイレでも、一緒に入るのには抵抗があり、トイレの前で心配しながら待つている状況です。  
地域包括支援センターのスズキさんに相談すると「介護マーク貸出事業」のことを教えてくれました。「介護マーク」とは、介護者がトイレ介助などをするときに、周囲から誤解を受けないうように、介護中であることを知らうためのものです。早速、ヒロシさ



介護マーク

んは、地域包括支援センターで「介護マーク」を借り、ヤスヨさんと出掛けました。首にマークをかけるだけのことですが、何だか気持ちがほつとします。一緒に多目的トイレに入ることにも抵抗がなくなりました。名刺サイズの小さなカードが、ヒロシさんに大きな安心をくれました。

## 家庭教育のススメ

### いきいき子育て 親育ち⑪

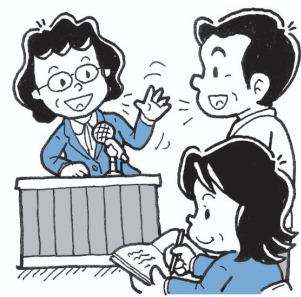
地域教育支援課

☎224-6086

子育て中は親にも、「親が親として育ち、力をつけていくための学習」が必要です。子どもたちが日々成長するように、親も学ぶ姿勢が大切です。

今回は、「親の学び」について考えます。

### 気軽な気持ちで参加



地域では、子育て中の親が参加できる、さまざまな講座やイベント、学校行事などがあります。まずは気軽に参加してみましょう。そこは、共通の話題について話し合うことのできる学びの機会でもあります。また、親同士の情報交換は貴重です。母親だけでなく、父親も積極的に参加しましょう。

### 学ぶ時の心構え

子育てには、「さまざまな考え方」があります。多くの人の意見を聞き、「自分の家庭で生かせるヒント」を探すことが大切です。機会があったら、思い切って自分の考えていることや体験を話してみましょう。自分の意見が他の人のヒントになることもあります。

### 家庭でも話し合い

学んだ内容は、家庭で生かしましょう。親が学んだことを話題にし、家族みんなで話しましょう。会話を増やすことは、家庭づくりの基礎につながります。また、会話を増やすためには、できるだけ家族一緒に食事をするなどの環境づくりが大切です。

子を思い、より良い将来に向かって努力し、学び続ける親の姿は、間違いなく子どもたちの心に響きます。



## ごみ処理とぴくくす

### 在宅医療廃棄物の出し方

資源循環推進課 ☎239-6267

在宅医療廃棄物とは、在宅医療に伴い家庭から出される廃棄物のことです。この廃棄物には、市で処理できるものとできないものがあります。

#### 市で処理できるもの

感染性のないもの。鋭利でないもの。鋭利ではあるが安全な仕組みを持つもの。

例：点滴等のビニールバッグおよび付属のチューブ類、プラスチック製品、ペン型自己注射針など。

出し方：ビニールバッグは中身を空にする。チューブは

50cm未満に切る。無色透明または白色半透明の袋に入れて「可燃ごみ」の日に出してください。

#### 市で処理できないもの

感染性のあるもの。鋭利なもの。

例：注射針、点滴針、感染症患者の血液や体液が付着した物など。

出し方：かかりつけの医療機関などに処理を依頼してください。

\*感染性の有無については医師に確認してください。



# 市長からの手紙

## 34 オリンピックその2

皆様すでにご承知のことと思いますが、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでは、川越の霞ヶ関カンツリー倶楽部でゴルフ競技が行われる予定です。1月24日に大会組織委員会が発足しました。今後は委員会を中心に準備が進められることになり、川越市でも4月からは、職員3名の課相当のオリンピック準備担当部署を設け、対応していく予定です。

現在分かっている概要は、競技は2020年の8月初旬頃、競技中は毎日約2万5千人のギャラリーが競技の観戦に来ると予測されること、前年の2019年には予行演習的なテストイベントが予定されることなどです。

実際、これだけの人をどのようにゴルフ場まで運ぶのかということが一番大変なことです。川越市では、4年前から「小江戸川越マラソン」

を行っています。マラソンの当日は早朝から、川越駅・水上公園(スタート会場)の間を貸切バスでピストン輸送をします。もちろん自家用車や自転車・徒歩などで来られる人もいますが、小江戸川越マラソンの1万人規模でも、1か所に集めることはとても大変です。それが、その倍以上の人数を延べ8日間(予定)、毎日、1か所に集めるための輸送は、これまで経験したことのない大事業であり、かなり周到な準備が必要なのは間違いありません。

次に重要なのは、ゴルフ観戦に来られた人たちに市内観光に向かってもらうための方策です。競技観戦が終わり帰る人たちにおもてなしをするとなると、どうしても夕方から夜になります。観光の中心となっている地域は、昼間に訪れる観光客が多いことから、現在は夜になると早めに営業を終了する店舗が多いようです。

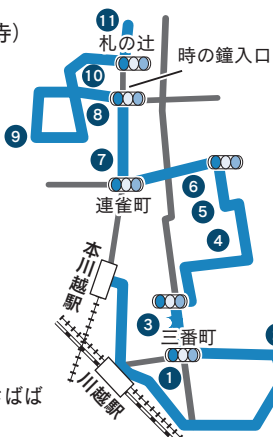
夜の観光客の獲得に向けて、月に1度営業時間を延長する取り組みを始めているところもあると伺っていますが、今後さらにこの動きが拡大することを期待しています。

4月から、オリンピック準備担当部署を中心に市役所全体でこのような課題の検討を進めてまいります。課題はいろいろあります。

川越市長 川合善明

### おもしろ仏像・石仏めぐり

- ①さつまいも地蔵(妙善寺)
- ②いもっこ観音(長徳寺)
- ③愚痴聞きさま(川越八幡宮)
- ④仏足石(中院)
- ⑤五百羅漢(喜多院)
- ⑥おびんづる様(成田山川越別院)
- ⑦おびんづる様(連誓寺)
- ⑧苦行釈迦(長喜院)
- ⑨お掃除小僧(栄林寺)
- ⑩布袋像(見立寺)
- ⑪あごなし地蔵・しゃぶきば(広濟寺)



今回は、「おもしろ仏像・石仏めぐりコース」です。最初に向かうのは、川越八幡宮。ここには、愚痴聞きさまの像があります。見た目は、聖徳太子の姿をしていて、左手を耳にあて、いかにも愚痴を聞いてくれる格好をしています。日ごろ愚痴や悩みを持つている人は相談してみたいかがですか。愚痴を聞いてもらい、すっきりした後は、足取り軽く、喜多院に向かいます。ここには、いろいろなポーズや表情の538体の羅漢像があります。あぐらをかき、その上に十二支のネズミやウサギを乗せたものや眼鏡をかけたものなどがあり、見ていると、あつという間に時間が過ぎてしまいます。次は、蔵造りの町並みを横目に「あごなし地蔵」と「しゃぶきば」がある広濟寺を訪ねます。あごなし地蔵は、その名の通り下あごがなく、歯痛にご利益があるとされています。あごがないから、歯がない、歯がないから歯痛もない、と何ともしやれの効いた地蔵です。隣には、顔や体が縄で縛られているしゃぶきばの石仏があります。「しゃぶき」は、古い言葉で「咳」を表し、呼吸器系の病気に利益があるとされています。縄を縛って願かけをすることから、ちよつと変わった見た目になっています。他にも、お掃除小僧などユニークな仏像があります。

小江戸川越めぐり90観光コース 9

観光課 224・5940